

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170401053		
法人名	株式会社元気な介護		
事業所名	グループホームくらしさ手稲 1Fユニット		
所在地	札幌市手稲区富丘2条6丁目2-1		
自己評価作成日	平成28年3月1日	評価結果市町村受理日	平成28年4月11日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の残存能力を十分に生かせる、または維持していけるような支援を日々検討し実施しています。  
 排泄面では容易にオムツやリハビリパンツを使用するといった選択ではなく、入居者様一人ひとりの力や排泄リズムを把握し、声掛けにてトイレで排泄を行って頂いています。歩行に関しては特変時や緊急時を除きなるべく車椅子を使用しない支援を心掛け、日々の運動や個々に筋力低下防止の運動を危険の無い範囲で提供しています。また、食べる事、食べられる事を大切に考え、食事が低下している入居者様には少しでも食べて頂けるように食事の時間や食事形態を変えるなどの工夫をしています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室
訪問調査日	平成28年3月24日

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

近隣には、手稲稲積公園・富丘西公園・三樽別川緑地等があり、緑豊かな自然環境に恵まれている2階建て2ユニットの事業所である。また、稲積公園駅と手稲駅の2駅が徒歩圏内で、札幌自動車道や国道5号線・バス停も近く、交通の利便性も良い。小学校・中学校・保育園も近くがあり、子供達の元気な姿を毎日見ることが出来る住環境である。管理者及び職員は、信頼関係と馴染みの関係の中で、法人の理念『暮らしを支え、心を磨く』を基本とし、利用者と共に過ごす日々を大切にしており、季節を感じる行事や、利用者の身体機能に合わせ体操・歌・風船バレー等のレクリエーションを日課とし、事所内でも楽しく過ごせるよう工夫している。利用者の、日々の行動や支援経過を時間を追って記録した『ふれあい日誌』は、一ヶ月分をまとめて家族に送付しており、利用者が毎日どのように暮らしているか、一目でわかるように配慮しており、家族アンケートも実施している。外国人女性講師による英会話や読み聞かせのボランティア訪問も、利用者の楽しみになっている。恵まれた住環境の中で、利用者をやさしく支え地域に根ざした家庭的で温かい事業所である。

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができて いる (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各職員が理念を把握しそれを実践に繋がられる様努めています。	法人の理念『暮らしを支え、心を磨く』の他に、一人ひとりの生活を大切に、安心・安全な暮らしを支えるために、職員が考えた『毎月の目標』を策定している。会議で話し合い、実践に向けて取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内のお祭りに飾る提灯を作成させて頂きお祭り時には飾って頂いたり、ハロウィン時は仮装をした子供会のお子さん達が訪問され交流しています。	近隣の小学生や幼稚園児との交流や、外国人教師による英会話・読み聞かせ・音楽療法等のボランティア訪問がある。事業所前に、スーパーの移動販売車が来ており、近隣住民が利用することで、地域貢献に役立っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方々と交流する機会がある時などに、地域の方々に事業所の事や認知症の事を知っていただける様、お話しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では、地域の方々、ご家族様に参加して頂き、日頃の報告やアクシデントなどの報告も行い、頂いた助言を活かせるよう努めています。	運営推進会議には、家族・地域包括支援センター職員・町内会役員等が出席し入居状況・近況報告・意見要望等を話し合い、事業所の運営に効果を上げている。	運営推進会議は規定通り開催し、会議内容の検討及び会議終了後は、わかりやすく整備した議事録を、利用者家族に送付することを期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域の管理者会議に参加しており、継続して相談や助言を頂くよう努めています。	手稲区生活保護課職員とは、日頃から連携をとり協力関係を築いている。市や区の管理者連絡会議などに参加して、情報を共有し常に利用者本意のケアサービスに取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアについて日々職員同士で考え、カンファレンスなどで話し合い方向性を決め、取り組みを行っています。	日中玄関は施錠せず、鍵をかけない暮らしを実践している。身体拘束や虐待に関するマニュアルは完備し、拘束や虐待のない自由な暮らしを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の合同会議時、声掛け等で虐待と思われる様な声掛けはしていないか、どんな声掛けが虐待と思われるのか、などを職員と話し合いをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在成年後見制度により成年後見人を利用している入居者様がいっぱいありますが、今後も活用出来る様、職員にも学ぶ機会を得られる様努めて行きます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書と共に重要事項も一緒に時間をかけて説明し、事業所のケアに関する考え方や取り組み等の説明も行っています。また、入居されてからもご不明な点などが無いかお話ししています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様本位の運営を心掛け、意見・要望・苦情等が有れば随時対応し、入居者様の不安や意見を探りサービスの質の向上に活かせるよう努めています。	写真入りの機関誌と、毎日の様子を記録した日誌を1ヶ月分ファイルして送付しており、大変好評である。また事業所独自の家族アンケートを実施し、家族の意見を収集している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度の合同会議や個人の面談にて、職員の要望や意見を聞き反映出来るよう努めています。	全職員参加の全体会議は月1回あり、その後ユニット会議を行っている。そこで出た意見や提案は、ケアサービスの充実に効果を上げている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の評価制度や自己評価を行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各フロアーリーダーと話し合い、職員の面談や指導を行ったり、合同会議等で研修内容等報告しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は地域の管理者会議に出席し交流をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています。	相談が有った時には必ずご本人様にお会いし、心配事やご本人の思いに向き合い安心して頂けるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人様、ご家族様とお会いし、不安や希望をお聞きする機会を設けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様との相談や会話を繰り返し行う事で信頼関係を築きながらサービスを提供出来るよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人、ご家族様から以前の暮らしをお聞きし、関係作りを心掛けています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様が来訪された時は、日々の生活や体調の変化、行事で行った事などを報告させて頂き、面会時には居室でゆっくり過ごして頂けるよう配慮しています。また、面会に来られないご家族様には、毎月送らせて頂いている日誌と共に日々の様子をお手紙にて送らせて頂いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に通っていたなじみの所は途切れないよう支援に努めます。	職員が送迎して、昔馴染みの美容室に通っている。歌が好きな利用者は、家族と共に外出してカラオケを楽しんでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	コミュニケーションが苦手な利用者様を理解・把握し職員と一緒に輪に入り会話をする様支援に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も連絡しやすい環境・状況を心掛け支援に努めています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中でご本人様の希望・意向を把握するよう心掛けカンファレンスにて検討しています。	日頃の会話や表情、行動等から利用者の思いや意向の把握に努めている。また家族からも意見や意向を聞きながらケアに活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人・ご家族様から生活歴を伺い把握出来るよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の暮らし中で状態を把握し変化があればすぐに対応出来るよう努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様・ご家族様・医師などと課題や意向を伺い介護計画に反映出来るよう努めています。	定期的なモニタリングを行ない、利用者の変化や対応について家族・職員・医師・看護師と話し合い、利用者がより良く暮らせるための介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活や状態を把握しカンファレンスにて職員間で意見交換を行いモニタリングを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様一人ひとりの状況や状態に合わせ柔軟な対応をするよう心掛けています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問理容・ヤクルト販売を定期的に利用し、行事にはご家族様、町内会の方にも参加頂けるようご案内させて頂き、地域資源の利用に努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は月に2度往診にきて頂いています。また、24時間の連絡体制を整えている為、急な体調変化にも対応しています。	週に1度の訪問看護師による健康管理、協力病院の医師は毎日のように利用者の往診に訪れており、いつでも相談できる。また、それぞれの病状に合わせた医療機関を受診できるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員間で情報を共有し看護師に相談しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院期間中は週に一度病院に来院し、入居者様の状況・状態を医師や看護師から伺い情報交換を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでい	ご本人様・ご家族様・医師と十分に話し合い方針を決めています。	重度化の指針は文書化し、家族に説明している。かかりつけ医や看護師と連携し、話し合いをしている。本人や家族の希望を尊重し最善を尽くしており、看取りの経験もある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	各フロアーに対応マニュアルを置き、日々目を通してはいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、日中や夜間の設定で避難訓練を行い入居者様・職員に避難出来る方法を身につけていただいています。また、町内会で行った避難所の講習などに参加し職員にも共有しています。	消防署の協力のもと、年2回避難訓練を実施している。災害用備蓄品については、法人本部が情報を収集し準備中である。	利用者家族の避難場所の把握や、台風・地震・雪害などの自然災害に対応できるような防災訓練の実施と、訓練することで見えてくる、倒れる危険のある家具の洗い出し等、運営推進会議や職員会議で検討することを期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけについては合同会議にて職員と話し合いを行っています。また、言葉かけがきつく感じる職員には面談を行い個々に指導しています。	利用者本人の気持ちを汲み取り、プライバシーを損ねないよう、言葉かけなどに細心の注意を払い、対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様との会話を大切にし何を求め、何を望んでいるかを日々の行動からも観察しカンファレンスにて職員同士が共有する事で入居者様が自己決定出来るように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを尊重した支援が出来るよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で洋服選びが出来る入居者様には朝の更衣時にご自分で洋服を選んで頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りは現在のADLでは困難な方が多く出来ていませんが、テーブル拭きや食器拭きは職員と一緒にしています。	身体状況・嗜好・栄養バランスに配慮して作成した、献立表に基づいた食事を提供している。職員も一緒に食卓を囲み、個々の嚥下状況や体調の確認をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士がメニューを作成しメニューに沿って調理しています。水分が摂れない入居者様にはゼリーなどを提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っています。また、週に一度訪問歯科診療も実施しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表にて個々の排泄パターンを把握し、声掛けにてトイレ誘導を行っています。また、ご自分で出来る事は行って頂き、自立支援に努めています。	一人ひとりの心身の状況や、個々のサインを見逃さないように、尊厳に配慮したトイレ誘導をしている。各ユニットのトイレは使いやすく整備され、清潔である。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表にて便の確認を行い、水分を多く摂って頂いたり、ヨーグルトなどを提供しています。また、医師に指導を受けお腹のマッサージもさせて頂いています。		
45	17	○入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴時は声を掛け入居者様の希望やタイミングに合わせた入浴を心掛けています。また、入浴時はお話をしたり、一緒に歌を唄ったり、楽しみながら入浴して頂き、怪我などが無いか、全身確認もさせて頂いています。	週に2回は入浴が楽しめるよう、一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に応じて支援している。入浴拒否傾向の利用者には、声かけ・時間帯の調整・足浴・清拭など、工夫した支援を行っており、清潔保持には心がけている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の体調や状況に合わせた休憩を取って頂いています。また、夜間就寝後はこまめな巡回を行い事故のないよう努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については数名の職員で確認し、名前が確認できる入居者様にはご本人様にも確認を行っています。また、処方箋もファイリングし職員が確認出来るようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ティータイムには一人ひとりに飲みたい物を伺い提供しています。また、日々のレクでトランプやかかるたをしたり、職員と一緒に歌を唄ったり、季節ごとの飾り物を作ったり、気分転換が出来るよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	春から秋までは散歩に行ったり、外のベンチで近所のお子さん達とお話したりしています。また、ご家族様にご協力頂き、外食をされる入居者様もいらっしゃいます。	前庭に出てお茶を飲みながらの外気浴や、プランターで作る野菜の世話や収穫をしている。個々の体調や希望に合わせた散歩等、屋外へ出る機会を工夫した支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時にはご自分でお支払いが出来る方にはして頂いています。また、ご自分で管理が出来る方は少額のお金を所持している方もいらっしゃいます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様との電話を希望された時は、職員が取り次ぎを行いお話しして頂くよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	快適に過ごして頂けるよう、室温・湿度などに配慮し、フロアの飾りつけも季節感を感じて頂けるような飾りつけをするよ努めています。	清潔で居心地の良いリビングや廊下・階段の壁には、利用者の作品や行事写真が飾られ、季節感がある家庭的な雰囲気となっている。玄関前にベンチを置き、日光浴や外気浴をしながら、近隣の子供たちとの会話を楽しんでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った方々がゆっくりとお話して頂ける様に座席を工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはご本人様が安全で、安心して頂けるよう馴染みの有る家具を置いたり、職員の手作りのパーズデーカードやご本人様が塗られた塗り絵などを飾っています。	利用者や家族と相談し、自宅で使っていた利用者馴染みの家具・小物・写真・生活用品を持参している。居間から少し離れており、静かで落ちつける環境にある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご自分で出来る事は時間が掛かってもご自分でやって頂き、危険のない範囲で見守りしています。		